藤村良平氏に表彰状

七月二十一日新潟県民会館において表彰式が挙行され協議会長君知事より交通安全功労者十名の方に表彰状が授与されました。月潟村からは藤村良平氏がこの栄えある表彰を受けられました。今後の活躍をお願いします。

地区衛生組織活動優良団体表彰を受賞

さる7月29日、巻町公民館において、昭和58年公衆衛生推進大会が開催され、その席上、当村からは、西地区公衆衛生組織委員会（代表間嶋慎司氏）が表彰されました。その内容は、西部落が一体となり、家庭のゴミ処理、宅地排水の整備等環境衛生に力を入れ、他の地区の模範になっている。また、検診事業に対する受診の向上に努めた功績によるものです。

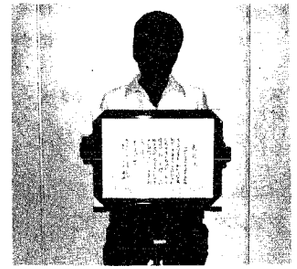
母と子の料理教室に参加して

牛乳嫌い、野菜嫌いの我子もいい勉強になりました。

月潟　道見光子

去る七月十六日に開催された「母と子の料理教室」に私は、娘と参加しました。

その日の献立は、スパゲッティ、サラダ、グレープフルーツのバスケット詰めの三つでした。役場の住民課の方、食生活改善推進委員の方々からご指導をいただいて、包丁の使い方、料理のポイントなどを教わった後、各々のテーブルで実習に入りました。トマトの湯むきをしたり、玉子をゆでたり、日常家事でやっているようなことですが、新鮮さがあり、娘ともども、他の参加者の方とひとつひとつ、見たり、聞いたりしながら楽しく出来ました。



また、今回の講習で一番勉強になったことは、バランスのとれた食事の大切さを子供達に説明して頂いたことです。

小学校六年の娘は、偏食が多く、「好き嫌いをしないで！」という私の気持ちを理解出来ず困っておりました。これを良い機会に少しは分ってくれたのではないでしょうか。

娘は、料理の中でも、サラダにかけたオーロラ・ソースの味が、とても好きになったようで、以来、我家の食卓に時々載っています。私も、こうしたちょっとした工夫も必要だなあと感じました。

日頃の食生活において、気付かなかったこのようなことを発見し得たことは、大変有意義でした。是非、今後もこうした企画をお願いします。

最後になりましたが、今回の講習の準備とご指導下さった関係者のご労苦に対して、参加者の一人として感謝申し上げます。

『厚生大臣』より感謝状授与

月潟村は昭和五十七年度目標達成率で県下第五位

皆さんの尊い御協力により過去五ケ年間の目標達成率が最もすぐれていたとして、月潟村を含め県下十の団体、内（市町村四、団体三、学校二、個人一）に対して感謝状の贈呈が七月二十八日、厚生大臣より知事を通じて伝達されました。

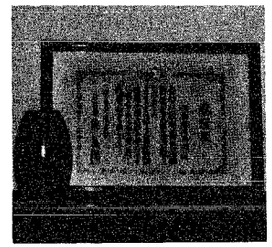
近年の血液の需要は、医療の急激な進歩により年々増加しているといわれています。

需要の第一は、老人医療があげられ、外科の手術や内科の治療であり、新しくは、産科にと大きく供給されるとのことであります。

〝人命と血液〟

皆さんは災害に備えるために貯蓄をされていると思いますが、これと同じように病気や怪我のため急に血液が必要のときがあります。このときに多くの人の善意と協力によって結ばれた献血による血液がやくにたって命の尊さを知ることがあると思います。万一に備えての献血を是非お願いいたします。幸い、当村が今回この栄えある賞を受けたことは、ご協力いただいた一人ひとりの善意と相互扶助の精神が実ったものであり、深く感謝を申しあげます。

ここに、月潟村の五ケ年間の献血状況記録を御報告いたします。



年　度	目標達成率
昭和53年度	129.8 %
昭和54年度	163.5 %
昭和55年度	175.6 %
昭和56年度	181.2 %
昭和57年度	175.7 %

健康と医療費を考える

＜増える国民医療費＞

あなたは、医療費を年間どのくらい使っているか、ご存じですか。約十二万円 ― これが昭和五十七年度（推定）の国民一人当たりの医療費です。つまりわたしたちは、ひと月に一万円の割合で医療費を支払っていることになります。

では国民全体ではどのくらいになるかというと、五十五年度が十一兆九千八百億円、五十七年度は十三兆八千八百億円という巨額になると見込まれています。

昭和三十年度が二千四百億円でしたから、五十五年度と比較すると、この二十五年間に、なんと五十倍にもふくれあがったわけです。

その間、日本経済も世界に例を見ない目覚ましい発展を遂げたわけですが、その成長の度合いを国民総生産（GNP）で比べると二十七倍ですからいかに国民医療費が〝高度成長〟したかが分かります。

＜約九〇％は税金や保険料で賄われる＞

年間一人当たり十二万円、国民全体では十四兆円近い医療費は、どのように賄われているのでしょうか。

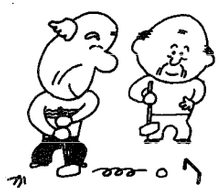
医療費の大部分は医療保険システムから支払われており、わたしたちが病院の窓口で支払う金額は、医療費全体の一割にしかすぎません。

これは、わたしたちが、小さな負担で大きな価値の医療サービスを受けられるようになっているともいえるわけです。しかし、だからと言って安心してはいられません。よく考えてみると、公費負担分や保険者等負担分も、実は、わたしたちが毎月納める社会保険料や税金で賄われているのです。ですから、むやみに医者を代えたり、安易な気持ちで受診すると、結局わたしたち一人一人にそのツケが回ってくるわけです。

＜〝賢い患者〟で医療制度を守る＞

わが国の人口全体に占める六十五才以上の割合は、昭和五十五年度が九・一％ですが、二十年度には一五・六％に増える見込みです。それに伴って、医療費も相当増大することが予想されます。さらに、年金受給者数も多くなることを考えると、医療と年金の両システムを円滑に機能させていくために必要なわたしたちの負担は、相当大きなものになるでしょう。

将来のわたしたちの負担を適切な規模に迎え、高令化社会をスムーズに迎えるため、わたしたち一人一人が、健康の大切さをもう一度よく考え、日ごろから健康づくりに努めること、そして医療を受ける時にはできるだけ無駄のないよう心掛けていくことが必要です。



西公民館で角兵衛獅子の舞を見よう

昨年に引き続き〝うるおいの新潟〟観光キャンペーンに今年も参加します。

いいことあるヨキット！

旅の話題は越後から

期　日　昭和58年9月17日・18日
午後2時～3時まで
〃　9月24日・25日
午後2時～3時まで

☆　角兵衛獅子資料館・越後鎌資料館も併設。ご自由にご観賞下さい。

☆　特産品も同時即売

★期　日　9月17・18・24・25日の4日間
午前9時～午後5時
場　所　上曲通　原　同氏梨園
どうぞ、知人、近所おさそいあわせでおいで下さい。

うちの梨はうまいよ！
園主の声